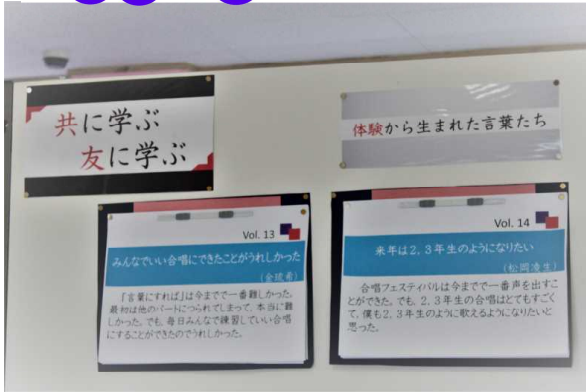


森中生のさらなる成長に



【『共に学ぶ 友に学ぶ』コーナー】

本校では、将来、変化の激しい社会の中で困難に出会ってもたくましく、そして心豊かに生きてほしいという願いから、様々な取組を行っています。その一つとして、今年、『共に学ぶ 友に学ぶ』コーナーを設けています。体験から子どもたちが感じた思いを掲示し、互いの気持ちを理解したり、刺激を受けたりし、心を耕す一助になればと考えています。自他を認め、他者を思いやる心、感動する心、誠実で謙虚である心、克己心、これらは充実した人生に結び付く大切なものです。様々な人との関わりや環境のもとで豊かな心を培ってほしいと願っています。



【個人の家学習ノート提出状況表】

1学期も行いましたが、テストに向けて普段は学級担任が点検している家庭学習ノートを教科担当が点検しアドバイスするという取組を行いました。1年も後半に入っていますが、家庭学習をどのくらいレベルアップさせることができたでしょうか。自分に合った学習の仕方は、やることの中からでしか、体得することはできません。先生のアドバイスや友だちの取組を参考にして、自分なりの学習スタイルを見つけ、将来の可能性を広げるために力を伸ばしてほしいと思います。



【学年の家学習時間の表】

新しい生徒会役員・学級役員選出



【立会演説会】



【投票の様子】



【新旧委員長の引き継ぎ】

新生徒会役員と学級役員が選出され、令和4年度後期の体制が整いました。立会演説会で立候補者が公約を堂々と語る姿から、学校や生徒会活動にかける思いを感じることができました。役員だけに任せきりにするのではなく、全校生徒が参加し協力していく生徒会活動にしていくことと期待しています。各種委員会の委員長も選出され、前委員長から仕事を引き継ぎました。3年生のサポートを受けながらよりよい学校づくりを目指していきたいと思ひます。

避難訓練 煙の恐ろしさ

8日、1階工作室付近から出火という想定で避難訓練を行いました。今回は、いつ行うという時間の予告なしの避難訓練でした。自分がどこで何をしているときに非常ベルが鳴り、避難しなければならないか分からないということは、不安だったと思います。しかし、災害はいつ起こるかわかりません。普段からいざというときに冷静に行動できるように心の準備をしておくことが大切です。

全体会では、煙の恐ろしさについての動画を視聴しました。1年三浦希奏さん、2年渡部飛羽さん、3年工藤悠斗さんが、学年代表の感想発表の中で「講話や動画から学んだことをいざというときに生かして避難したい。特に、煙への対処の仕方を学ぶことができました。」と話してくれました。全員真剣に訓練に臨み、整然と避難することができましたが、これからは暖房器具を使う季節です。冬囲いや積雪で避難経路がふさがれてしまうことも考えられます。火事を起こさないことはもちろんですが、いざというときの心構えや行動についても考えておきたいと思っています。



学びや森よし 地域の方から学ぶ



15日、地域の方から働くことや生きることについて学ぶ「学びや森よし」が開かれました。今年は講師として、向様田出身の造園家、山田茂雄さんをお迎えしました。山田さんは、都内でお仕事をされていましたが、ふるさとへの思いから『森吉 森のテラス』を設立されたそうです。お話の中で、これまで手がけてきた庭園の動画を見せていただきました。自然の地形や岩、水の流れを生かした素敵な庭園でした。「好きなことをずっと大切に続けた。」「自分の生き方はこれだという信念をもってきた。そして、この職業は天命なのだと思って生きてきた。」「ふるさとの自然によって培われてきたものが、東京での造園という仕事に結び付いた。」というお話が印象的でした。生徒会長から、「『森吉 森のテラス』では、水・植物・人間の関係を大切にしていることが分かりました。この三つは、私たちの生活の中でも大切なものです。山田さんのお話を聞いて、この三つの大切さに改めて気付くことができました。そして、ふるさとへの思いが強くなりました。」という話がありました。これからの生き方や在り方について考えるよい機会となりました。

放課後の学習相談



期末テストに向けて、今週は放課後の部活動をお休みして、学習相談を実施しました。「この問題を教えてください。」「この問題のプリントをください。」と積極的な姿が見られました。自ら求めて学ぶ学習こそが成果を生みます。

森中風物詩 雪囲い



今年も、校務員の三浦さんが敷地内の木々を丁寧に冬囲いしてくれました。とても綺麗で、まるで芸術作品のようです。雪の便りも聞かれるようになってきました。いよいよ、冬将軍の到来です。健康に留意しましょう。